



# mIRaI 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



## 津波対策 3校園合同防災訓練



12日、備前市危機管理課、東備消防署、伊里地区区長会、地域ボランティアの方々などの協力を得て、今年も3校園合同の防災訓練を行いました。

地震が起こり、各校園で第一次避難。その後津波警報が出たとの設定で、各校園階上へ二次避難。そして警報が解除となり、伊里中学校体育館が避難場所に指定されたので、体育館へ三次避難。中学3年生はこども園に園児たちをお迎えに行きます。小学校児童たちも避難してきて、体育館に全員が集合です。今年は新たな取組として、先日1年生がフィールドワークを行った際の危険箇所の発表を、各地区ごとに行いました。これこそ「共有」と言えるのではないのでしょうか。

毎回言われますが、いざ有事の場合、中学生は大きな「力」として期待されます。「与えられる側」でなく、「与える側」に回るわけです。その役目を果たすためのきっかけとなる訓練でもあります。そのことを忘れずにいてほしいと思います。



まずは第一次避難、落ち着いて



運搬手伝いも大切な仕事です



3年生が園児を迎えに行って…



園児児童が地区ごとに並び替え



全員が避難完了です



1年生が危険箇所の発表を



地域の方も避難受付準備を



非常食なども展示されました



会長がお礼の言葉を

## 今トイレはこんな状態です



トイレ工事の真っ最中ですが、便器がなくなった後のトイレってどうなってるの？と知りたくありません？私はなりました(笑)。そこで、ちょっとお邪魔して撮影してきましたのでご紹介。個室のドアがないと広く感じるのかと思いきや、「こんなに狭かったの？」とビックリ。

3階のトイレです。何もない… 外トイレのこの穴が何か不思議… 特に、この便器のあったところにポッカリ開いた穴は、何か芸術作品のようにも見えて来るから不思議です、ってそんなの私だけ？

新しいトイレも次第に出来上がっていき、先日は色もほぼ決まりました。新しいトイレ、楽しみですな。



## 今ボランティアはこんな状態です



花植えボランティア真っ最中

伊里中学校では、本当に多くの場面でボランティアの募集をします。そしてその全てに多くの参加があります。なので、またこれもボランティアで、と好循環が生まれているように思います。

学校は「ボランティアの勉強をするところ」だと思います。学校で経験し、将来それぞれの場所でボランティアできる人になってほしいと願います。「自分の使える時間を、無理のない範囲で、自分以外の誰か何かのために、無償で」使えることのできる人、そういう人でいっぱいになったらステキですね。



## 第2回の点検も100%！ なのですが...



13日に、岡山県警より2名「カギかけコンテスト」の点検に来られました。今回で2回目ですが、今回も100%でした。完全制覇に向けて着々と前進しています！…と大絶賛したいところなのですが…。

実は10月より、生徒の登校後に私が自転車のカギをかけているかどうかのチェックをしています。毎日朝読書前に教室へ行っていたのですが、配置転換って感じですね(苦笑)。

生徒朝礼の後で、叫んだりもしました。「カギを絶対にかけよう！かけた後のカギは自己責任で確実に管理しよう！」と。しかし、それ以後も全校が「ゼロ」の日は皆無。まさしく「ゼロ」でした。多い時は「8台」、少ない時は「1台」でした。この1台の当事者は「オンリーワン」は、決して名誉なことではないですね。

もちろん、県警のチェック当日は、私は点検に行きません。生徒の自己管理の力で勝負！です。そして当日は「ゼロ」…これは褒めていいのか迷うところです。

「本番に強い」「やる時はやる」…これらは決して純粋な褒め言葉ではありません。「本番だけやればいいのか？」「やる時以外はやらないのか？」という声も聞こえます。

このコンテストの取組を通して「いつでもどこでも自転車のカギをかけるようにする」ようになることが目的であり、表彰されること自体が目的なのではありません。日常の「ゼロ」こそに価値があるように思います。

さあ、ここまで書いたら、次からはほぼ毎日が「100%」なことでしょう(プレッシャ〜)。